

様式7の2

費用対効果分析結果報告書

1 都道府県名 三重県

2 実施地域名 ■■■■

3 事業実施年度 令和元年度

4 費用対効果分析結果総括表

事業区分	事業種目	市町村	事業実施主体	施設名 (路線名)	効果計測項目	投資効率
特用林産振興施設等の整備	特用林産物活用施設等整備	■■■■	■■■■	特用林産物活用施設(培養・発生兼用ビニールハウス)	菌床栽培生シイタケの生産量 58t	0.4977

5 費用対効果分析結果個別表(作業道等関連施設等)

路線名	分析対象期間	年	
事業年度	年度	総事業費	千円
開設延長	m	利用区域面積	ha
効果項目		効果額 (千円)	備考
区分	項目		
効果額計 B 千円			
費用計 C 千円	うち維持管理費		千円
投資効率 B/C 千円			
マイナス効果の概要			
上記施設整備に係る森林伐採面積(作業道敷等)		ha	
伐採材積		m ³ /ha	
年成長量		m ³ /ha	

- (注) 1 効果額は、現在価値(割引後)を記載する。
 2 備考欄には、評価期間に係る伐採量等を記載する。
 3 算定根拠となる参考資料を添付すること。
 4 費用対効果分析を行った単位施設ごとに作成すること。

6 費用対効果分析結果個別表(生産関連施設等、特用樹林造成等)

施設名

区分	効果等
投下した総事業費 A(千円)	73,238
効果の内訳	
【直接経費】	
(1) 生産向上効果	
① 生産増大効果	5,075
(2) 経費節減効果	
① 労働経費節減効果	-7,128
② 機械経費等節減効果	-592
【間接経費】	
(1) 雇用創出効果	7,128
年総効果額 B(千円/年)	4,483
総合耐用年数 C(年)	10
還元率 D	0.123
妥当投資額 E=B÷D(千円)	36,447
廃用損失額 F(千円)	0
投資効率 G=(E-F)÷A	0.4977

- (注) 1 各区分における算定根拠となる参考資料を添付すること。
 2 特用樹林造成等の場合には、年効果額を年効果額の効果合計額に読み替えて記載すること。
 3 効果の内訳については、算定した効果額ごとに記載すること。

7 費用対効果分析結果にかかる対応方針(投資効率が1.0未満の場合)

費用対効果分析結果が低調であった理由	その解決策
原材料費の高騰により収益率が悪化し、生産向上効果を押し下げ、費用対効果分析結果報告書の投資効率が1を下回る結果となった。	原材料費の低下は当面見込めず、温暖化によりビニールハウスのエアコン代(電気代)も上昇する事が想定される。 生産量の増加による売上増と、原材料の一括大量仕入れによる原材料単価の値引下げ交渉などにより、収益の積み増しに務める。